

子どもと「まち」の育ち合いプロジェクト

三重県多気町 多気町まちづくり仕掛人塾子ども未来応援委員会

活動の目的

私たちは、「未来を担う子どもの育ちを地域全体で支える」ことを目的に平成23年度から活動しています。

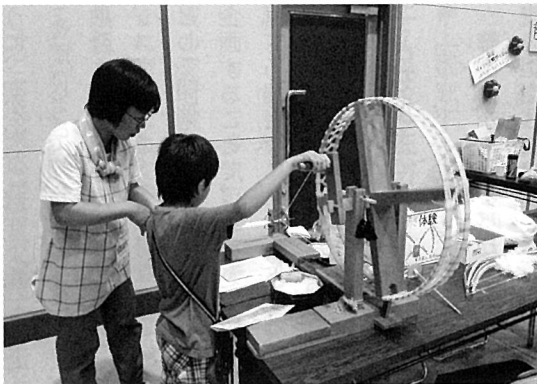
子どもとの関わりを地域全体で考える「子育て・子育て・自分育ち」、子どもが地域の大人と関わる機会をつくる「かえっこ発こどものみちプロジェクト」や、地域団体と子どもがつながる「綿プロジェクト」等の活動を通して、「子どもが豊かに育つ地域社会」を目指し、「地域による子育ての復活」につなげていきたいと思っています。

活動をはじめたきっかけ

子どもの自己肯定感（自尊感情）や自己評価の低下が言われて久しくなりますが、「高校生の留学に関する意識調査」（国立青少年教育振興機構（令和元年6月））においても、「私は他の人々に劣らず価値のある人間である」という質問に対して、「よく当てはまる」「まあ当てはまる」と回答した割合は、7年前よりは高くなっているものの、日本50・4%、アメリカ79・7%、中国91・7%、韓国80・1%で、他の国の5から6割となっています。

また、「青少年の体験活動等に関する意識調査（平成28年度調査）」（国立青少年教育

振興機構（平成31年2月）では、「今の自分が好きだ」と「とても思う」「少し思う」と答えた割合は、小学4年生62・0%、小学



子どものまちプロジェクト：ワークショップ糸紡ぎ



5年生55・9%、小学6年生54・4%、中学2年生38・2%、高校2年生38・0%で、学年があがるほど減少しています。

その背景には、親戚も少なく地域のつながりも希薄になっている現代社会の中で、「先生」と「親」以外の大人との関わりが少なく、評価の「ものさし」が教科の成績などに偏り、その「ものさし」に合わない「自分はダメだ」と思ってしまうのではないかと考えています。

子どもが豊かに育つ 地域社会を目指して

子どもが豊かに育つとは、子どもの主体性が尊重され、様々なことにチャレンジでき、そのことで、子どもが本来持っている「チカラ」に気づき、発揮できることと考えます。そのことが、自信や自己肯定感につながります。

同時に、周囲の大人が子どもの持つ「チカラ」を信じ、子どものありのままを認めること、待つこと、受け入れることが大切です。子どもとの関わりの中で、大人も子どもと共に「育ち合う」ことができる環境づくりをしていきたいと考えています。

活動内容

子どもとの関わりを地域で考える「子育て・子育て・自分育ち」は、大人が子どもと関わる中で大切にしたいこと、子どもとともに育つために必要なことを学ぶため、講演会やトークカフェ、映画上映会、コンサートなどを、これまで14回開催しています。

また、子どもと地域の大人が関わる機会を作ろうと始めたおもちゃの交換イベント「かえっこバザール」を12回開催し、13回目からは、より子どもが主体的に関われるよ



子どものまちプロジェクト：子どもフリーマーケット

うに、「かえっこバザール」とドイツのミニミュンヘンで知られる「こどものまち」を融合させた「かえっこ発こどものまちプロジェクト」を、多気町ならではの取り組みとして開催しています。子ども主体で運営・企画することで、子どもの個性や自主性を育てる場となるとともに、地域の大人との関わりをつくる機会となっています。

子どもが主役

第1回かえっこバザールのおもちゃの査定を担当したのは、保育園年長組と小学校1年生の女の子でした。彼女たちは持ち込まれるおもちゃにポイントで値段をつける査定の仕事がとても気に入り、第2回以降でも査定を担当し、ノウハウの伝達やルールの決定に中心的に関わっていきました。大人も子どもも新しいスタッフは、年齢にかかわらず彼女たちに教えてもらいます。このように一人ひとりが自分らしく活躍できる場を大切にしています。

また、定期的に子どもスタッフによる会議を開いて、前回のふりかえりを行い、今後の事業の改善点を話し合います。もっとおもしろくする方法や、やってみたいこと、子どもスタッフの待遇改善（スタッフの仕



子育て・子育て・自分育て勉強会

かえっこ発見

子どものまちプロジェクト

かえっこバザールも同時開催!

8月25日

時間:13:00~16:00
 場所:多気町民文化館
 (多気町相可1587-1)
 (参加費無料です)
 (一部有料のワークショップあり)

あそんで楽しむ、つくって楽しむ、子どもが主役の「子どものまち」

まちの中でお店を出したり買ものしたり、お楽しみコーナーをつくったり選んだり、お金を使いっぱいもうけたり使ったり。うまくいくこともうまくいかないことも楽しみながらいろんなことにチャレンジしてみよう!

子どものまちをもっと楽しむ！
 子どもスタッフカレッジに参加しよう!

お店のアイデアをふるまわせて、こども役のさかきくを考えたります。ひと足早く当日のワークショップもいけんです!

7/27 (土) 14:00~16:00
 「夏休みの工作おうえんワークショップ」
 夏休みの工作のヒントが見つかるかも?

8/10 (土) 14:00~16:00
 「おはけやしきをつくろう」
 おはけやしきを考えた、つくっていただきます。

前日&当日いんげん(多気町民文化館)
 8/24 (土) 10:00~12:00
 8/25 (日) 08:30~12:00
 ※お店を出す人は朝からいんげんびんびんをしてOKです

「子どものまち」って? 「おはけやしき」

子どもがつくるまち、それが「子どものまち」です。主役は子ども。こどもたちが遊びながらまちをつくらせていきます。大人の側はサポート役として子どもたちのチャレンジを見守ってあげてください。

こんなことができますよ!

かえっこバザール
 マーケット ワークショップ

おしごと&ワークショップしようかい!

- 手づくりおはけやしき
- タンキー用紙を入れるおさいふづくり
- 糸ぐるまで作るおはけやしき
- 音楽あそび(ひょうたんや楽器づくりなど)
- パズルや工作のコーナー「ポッチャ」
- 絵の具やマーカーを使ったアートなど

おしごとコーナーのものがたくさん! 「子どもスタッフカレッジ」でもさかきくを考えたります!

主催:多気町まちづくり仕掛人塾 子ども未来応援委員会

おしごとコーナー募集中心! ■申し込み・問い合わせ先
 電話:090-3255-2025 (朝日)
 090-9990-0200 (朝日)
 メール:tnskokodomo@yahoo.co.jp

子ども未来応援委員会
 ■おしごとコーナー募集中心!
 twitter: @tnskokodomo
 facebook: www.facebook.com/tnskokodomo
 多気町未来応援委員会 多気町まちづくり推進委員会
 〒491-0201 多気町相可1587-1 多気町民文化館 2階
 多気町未来応援委員会 多気町まちづくり推進委員会

共催:多気町/後援:多気町教育委員会(申請中)

2019年度開催の子どものまちプロジェクトちらし

「混在」して「共存」しています。

このようないろいろな人が関わり合い認め合う「交ぜ混ぜの場」が、子どもが豊かに育つことができる地域社会であると考えます。これからも、地域の団体や関係の方々とともに、多気町ならではの「子どもと地域の交ぜ混ぜの場」をつくり、子どもが豊かに育つことができる地域社会づくりに取り組み、まちを元気にしていきます。

(多気町まちづくり仕掛人塾 子ども未来応援委員会代表 明石須美子)

多気町は三重県の中央に位置し、人口1万5千人弱の農業が盛んな町で、観光地や工場団地もあり、近隣市への通勤や買い物、病院など、生活の利便性も低くありませんが、全国の地方と同様に少子高齢化が進んでいます。

子どもたちが集まってお寺の境内で遊んだり、畑仕事をしている近所のおじさん、

おばさんが通学中の子どもに声を掛けるような場面はあまり見られなくなりました。

「こどものまち」は年に2回程度のイベントですが、中学校美術部や家庭部を始め、糸紡ぎ体験、鼻笛や一五一会の楽器演奏、絵本の読み聞かせ、障がい者スポーツ体験など、地域の団体が体験ブースを出店し、子どもと関わっています。

開催を続けることで、「こどものまち」で関わった子どもと大人がスパーで出会って立ち話をしたり、校区の違う子ども同士が家に遊びに行き合うようになり、出店団体同士が連携したり、様々な接点やつながりが生まれてきました。

事に対する給料(ポイント)アップ)などいっぱいアイデアが出ます。その話し合った結果を、次の事業で実際にやってみます。

様々な接点やつながり

「こどものまち」では、いろいろな年齢層の子どもたちが、それぞれの楽しみ方で遊び、持っている背景が違ういろいろな大人たちが、それぞれの方法・考え方で子どもやその場に関わっています。最近の開催では、ハンデを持つ子どもたちも参加し、お互いが交わったり交わらなかつたりしながら作られていく空間は、いろいろな価値観が「混在」して「共存」しています。

今後の展開は「交ぜ混ぜの場」

子どもが「自分らしさ」を発揮できるように、多様な人々と関わり合いながら、自分で考え、やってみることが出来る場をつくること、子どもの育ちを応援することにつながります。